

未来への遺産

南島扇池



東京都「小笠原諸島」
 〽️間近にせまる
 世界自然遺産登録審査〽️

本州から南に約千kmにある小笠原諸島。もちろん東京都です。
 人口は約二千五百人、年間平均気温約二十三日の亜熱帯の島です。

小笠原諸島は、島の誕生以来一度も大陸と陸

世界遺産に値する小笠原諸島の自然の価値

地質・地形

海洋プレートの沈み込みにより形成された島々を、発生の初期段階から順に観察できる。特に沈み込み初期に発生するボニナイトという岩石を陸上で大規模に観察できる、世界で唯一の場所であること。

生態系

乾性低木林、人為的影響を受けていない南硫黄島、草本の木本化など、独自の進化を遂げた島しょ生態系であること

生物多様性

約630種もの多くの固有種と、国際自然保護連合(IUCN) レッドリスト掲載種57種を始めとする世界的な希少種が生息・生育していること。



世界遺産登録推薦ロゴマーク

続きになったことがない海洋島であるため、生物が独自の進化を遂げ、島独自の自然が形作られています。

東京都では、国や村と連携し、世界的にも顕著な価値を持つ小笠原諸島の自然を次世代に確実に引き継ぐために、世界自然遺産への登録を目指しています。

今年一月に、日本政府からユネスコに推薦書が提出され、七月にはユネスコの諮問機関であるIUCNの調査員二名による現地調査が行われました。

その調査結果等に基づき、来年六月下旬には、バーレーンで開催予定の第三十五回世界遺産委員会での世界遺産登録の可否が審議されます。

世界的に見てたぐいまれな価値があり、自然の宝庫と言える島、小笠原。皆さんも是非一度訪れてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ

東京都環境局自然環境部緑環境課

TEL ○三―五三八―三四五四



母島の湿性高木林